



## ◆9月 茶育授業 ～体験した子どもたちの感想～

5年1組 田中 結彩

お茶を注いだ時にお茶の様々な香りがしてこんなにたくさんの匂いがあるのだと知りました。お茶にはたくさんの種類があり、色々な注ぎ方があることも知りました。お茶のクイズの時に、匂いや作る時の原料だけでは何の種類のお茶なのかよくわかりませんでした。しかし、お茶の答えが出た時、匂いなどをかいだら何となくわかるように思いました。家で家族にメッセージを書いたコップにお茶を注いだら、「結彩ちゃんが注いだお茶は、格別だな」と言ってくれました。

## 5年2組 谷口 穂果

お茶を入れるのが、とても楽しかったです。お茶の入れ方を初めて知りました。茶育授業をして、麦茶とヨモギ茶はお茶じゃないことと、一回コップなどに移すと10度下がることが分かりました。冷たいお茶は渋くて苦みがあって、熱いお茶は苦いのから甘くなることもわかりました。また、「急須」や「湯呑」というお茶を入れる時に使う道具の名前も知ることができました。「お茶クイズ」で自分が飲んだお茶は、玄米茶でした。玄米茶は、いい香りで味もおいしかったです。茶育で習ったおいしいお茶の入れ方を試したいです。

## 5年3組 井田 心花

私はお茶が好きなので、茶育授業を楽しみにしていました。お茶には、種類やそのお茶に合った温度や入れ方があることを学びました。私は、ほうじ茶が好きで、ほうじ茶は緑茶の仲間だと初めて知ってびっくりしました。温かいお茶と冷たいお茶の飲み比べでは、どちらのお茶も私の予想の味とは全然違う苦みや甘みがありました。私は温かい方が好んで、温かいお茶は先に飲んだお茶の苦みを少し和らげてくれるような甘みを感じました。家で実際にお茶を入れてみると、家族が「いつもより美味しかったよ」「上手に入れられたね」とたくさんほめてくれました。